

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公表番号】特表 2006-508158 (P2006-508158A)

【公表日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-010

【出願番号】特願 2004-556177 (P2004-556177)

【国際特許分類】

**C 0 7 C 255/46 (2006.01)**

**A 0 1 N 37/34 (2006.01)**

**C 0 7 C 253/30 (2006.01)**

**C 0 7 D 261/20 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 C 255/46

A 0 1 N 37/34 1 0 3

C 0 7 C 253/30 C S P

C 0 7 D 261/20

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 22 日 (2006.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

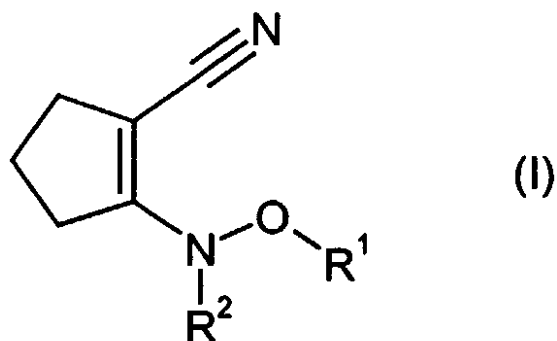
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I)

【化 1】



[ 式中、

$R^1$  及び  $R^2$  は、相互に無関係に、水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ又は、それぞれ場合により置換されたアルキル、アルケニル、アルキニル、アリール、ヘテロサイクリル又は -C O R<sup>3</sup> を表し、

その際、

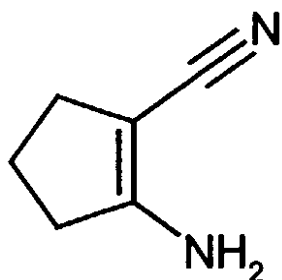
$R^3$  は、それぞれ場合により置換されたアルキル、アルケニル、アルキニル、アリール又はヘテロサイクリルを表す] の化合物並びにその塩及び酸付加化合物。

【請求項 2】

$R^1$  及び  $R^2$  は請求項 1 記載の意味を表すが、ただし、 $R^1$  及び  $R^2$  は同じであり、かつ C O R<sub>3</sub> を表す式 (I) の化合物を除く請求項 1 記載の式 (I) の化合物の製造方法におい

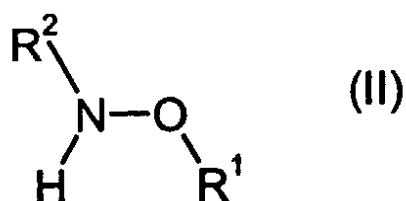
て、  
式

【化 2】



の 2 - アミノ - 1 - シクロペンテン - 1 - カルボニトリルを  
一般式 ( I I )

【化 3】



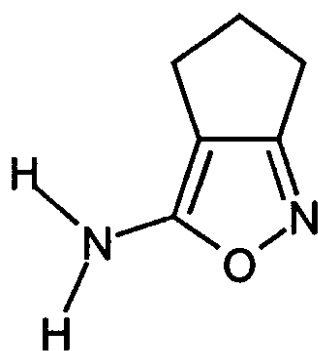
[ 式中、 $R^1$  及び  $R^2$  は請求項 1 記載の意味を表すが、 $R^1$  及び  $R^2$  は同時に  $-CO R^3$  を表さない ] のヒドロキシルアミン又はその塩と、場合により希釈剤の存在で、かつ場合により触媒量又は化学量論的量の塩基の存在で反応させることを特徴とする、請求項 1 記載の式 ( I ) の化合物の製造方法。

【請求項 3】

$R^1$  及び  $R^2$  は同じであり、かつ  $-CO R^3$  を表す請求項 1 記載の一般式 ( I ) の化合物の製造方法において、

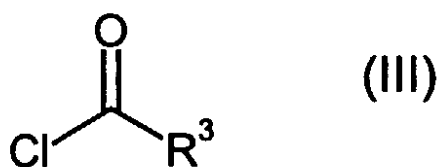
式

【化 4】



の 5 , 6 - ジヒドロ - 4 H - シクロペンタ [ c ] イソオキサゾール - 3 - アミンを、一般式 ( I I I )

【化 5】



[ 式中、 $R^3$  は請求項 1 に記載された意味を表す ] のカルボン酸クロリドと、場合により希釈剤の存在で、かつ場合により触媒量又は化学量論的量の塩基の存在で反応させること

を特徴とする、一般式 ( I ) の化合物の製造方法。

【請求項 4】

請求項 1 記載の少なくとも 1 種の化合物及び少なくとも 1 種の溶剤又は希釈剤並びに場合により加工助剤及び場合により他の殺菌作用を示す化合物を含有する殺菌剤。

【請求項 5】

工業材料の保護のための殺菌剤としての、請求項 1 項記載の化合物の使用。

【請求項 6】

請求項 1 記載の少なくとも 1 種の化合物を微生物に又はその生活空間に作用させる特徴とする、微生物による被害及び / 又は破壊から工業材料を保護する方法。

【請求項 7】

請求項 1 記載の少なくとも 1 種の化合物を含有する工業材料。